

| 年代 | ヨーロッパ・北アフリカ | | | | 西アジア | | | 中央ユーラシア | 南アジア(インド) | 北アジア | 東アジア | | | | 年代 | |
|------|--|------|--|--|--|---|---|---|---|---|---|---|--|--|---|----------------------|
| | エジプト王国 | カルタゴ | 共和政ローマ | ギリシア | マケドニア | ペルガモン | シリア | パルティア | バクトリア | マウリヤ朝 | 匈奴 | 前漢 | | 漢 | | 朝鮮 |
| 100 | <p>200～197 第2回マケドニア戦争</p> <p>198 アカイア同盟、ローマと結ぶ</p> <p>149～146 第3回ポエニ戦争 (146 カルタゴ滅ぶ)</p> <p>133 ヒスパニア全土領有</p> <p>111～105 ユグルタ戦争</p> <p>91～88 同盟市戦争</p> <p>88～82 マリウス・スラの争い</p> <p>73～71 スバルタクスの反乱</p> <p>64～63 ポンペイウス、西アジア諸国をローマに編入</p> <p>60～53 第1回三頭政治 (ポンペイウス・カエサル・クラッス)</p> <p>58～51 カエサルのガリア遠征</p> <p>48 ファルサロスの戦い (ポンペイウス敗れる)</p> <p>45 カエサル、ユリウス暦を制定</p> <p>44 カエサル、終身独裁官となる。カエサル暗殺される</p> <p>43～36 第2回三頭政治 (オクタウィアヌス・アントニウス・レビドゥス)</p> <p>34 アントニウス、クレオパトラと結婚</p> <p>31 アクティウムの海戦 (オクタウィアヌス勝利、内乱期終わる)</p> <p>30 オクタウィアヌス、エジプト遠征。アントニウス・クレオパトラ自殺。エジプト、ローマの属州となる (地中海征服の完成)</p> | | | | | <p>168 ビュドナの戦い</p> <p>133 アッタロス3世没、ローマに領土を譲る</p> <p>139 大月氏興る</p> | <p>190 マグネシアの戦い</p> <p>165～135 マカベアの反乱</p> <p>142～63 ユダの一時的独立</p> | | <p>176頃 月氏の西遷</p> <p>163頃 メナンドロス (ミリンダ)、パンジャーブ地方に君臨</p> | <p>180頃 マウリヤ朝滅ぶ</p> <p>175頃 バクトリア、西北インドに侵入</p> <p>160頃 サカ人、移動開始</p> | <p>176頃 月氏、匈奴に追われて西遷</p> <p>129 武帝の匈奴攻撃始まる</p> <p>121 霍去病の匈奴討伐</p> <p>104 大宛へ遠征 (李広利)</p> | <p>202 前漢の成立</p> <p>202～195 高祖 (劉邦) 都: 長安</p> <p>154 呉楚七国の乱</p> <p>141～87 武帝</p> <p>139頃 張騫、西域に派遣される (~126)</p> <p>五経博士を置く</p> <p>董仲舒 176頃～104頃 [春秋繁露]</p> <p>五鉄銭の鑄造</p> <p>108 朝鮮に遠征、衛氏朝鮮を倒す</p> <p>108/07 朝鮮半島に4郡 (楽浪・玄菟・臨屯・真番) を置く</p> | | <p>195～108頃 衛氏朝鮮</p> <p>91 [史記]完成 (司馬遷 145頃～86頃)</p> | | |
| 前1後1 | <p>前27～後14 アウグストゥス (オクタウィアヌス) … (初代ローマ皇帝) = プリンキパトゥス (元首政) 前4 (一説6) イエスの誕生</p> <p>大土木工事</p> <p>ラテン文学黄金時代</p> <p>オウィディウス</p> <p>ティベリウス</p> | | | | | | | <p>2～4 第3回パルティア戦争</p> | <p>70 アム川南方に領域を拡大</p> <p>65 月氏五王国の成立</p> | | <p>漢 (25～220)</p> <p>8～23 王莽 17 緑林の拳兵 18～27 赤眉の乱 22 劉秀、拳兵</p> | | | | | |
| 100 | <p>96～98 ネルウァ</p> <p>98～117 トライヤヌス (ローマ帝国領土拡大)</p> <p>117～138 ハドリアヌス</p> <p>138～161 アントニヌス=ピウス</p> <p>161～180 マルクス=アウレリウス=アントニヌス</p> <p>180～192 コンモドゥス</p> <p>180頃 ゲルマン人の帝国内移住始まる</p> <p>193～211 セプティミウス=セウエルス</p> <p>211～217 カラカラ</p> <p>212 アントニヌス勅令 (ローマ市民権、帝国全土に普及)</p> <p>216 カラカラ浴場完成</p> <p>220年代以後 ゲルマン人しばしばガリア・イタリアに侵入</p> | | | | <p>114～117 メソポタミア遠征 (帝国の領土最大)</p> <p>この頃 [新約聖書] の27書がまとまる</p> <p>135 ユダヤ人の流浪生活始まる</p> <p>150頃 ゴート人南下し黒海沿岸に定住を始める</p> <p>161以後 東方にしばしば反乱起こる</p> | | | <p>139頃 大月氏興る</p> <p>70 アム川南方に領域を拡大</p> <p>65 月氏五王国の成立</p> | <p>28頃 北インドを併せ、インドを統一</p> <p>季節風の発見とインド・エジプト貿易の発達</p> <p>「マヌ法典」整備</p> <p>大乗仏教興る</p> | <p>漢 (25～220)</p> <p>25～57 光武帝 (劉秀) 都: 洛陽 37 天下を統一 班固 32～92 [漢書]</p> <p>73 班超、西域を討つ 許慎 30～124 [説文解字]</p> <p>97 班超、甘英を大秦に派遣</p> | | | | | | |
| 200 | <p>五賢帝時代</p> <p>96～98 ネルウァ</p> <p>98～117 トライヤヌス (ローマ帝国領土拡大)</p> <p>117～138 ハドリアヌス</p> <p>138～161 アントニヌス=ピウス</p> <p>161～180 マルクス=アウレリウス=アントニヌス</p> <p>180～192 コンモドゥス</p> <p>180頃 ゲルマン人の帝国内移住始まる</p> <p>193～211 セプティミウス=セウエルス</p> <p>211～217 カラカラ</p> <p>212 アントニヌス勅令 (ローマ市民権、帝国全土に普及)</p> <p>216 カラカラ浴場完成</p> <p>220年代以後 ゲルマン人しばしばガリア・イタリアに侵入</p> | | | | <p>148～192 ヴォロゲセス3世</p> <p>209～224 アルタバヌス5世</p> <p>224 滅亡</p> | | | <p>145 インダス川下流にサカ人 (塞) 建国</p> <p>クシャーナ朝の勢力進出</p> | <p>48 匈奴、南北に分裂</p> <p>91 班超、西域都護になる</p> <p>91 北匈奴、イリに移る</p> | <p>漢 (25～220)</p> <p>105 蔡倫、製紙法の改良</p> <p>125 宦官の勢力盛んとなる</p> <p>魏 (220～265)</p> <p>蜀 (221～263)</p> <p>呉 (222～280)</p> <p>220～226 曹丕 (文帝)</p> <p>221～223 劉備 (昭烈帝)</p> <p>222～252 孫権 (大帝)</p> <p>229 孫権、帝位につく</p> <p>228 公孫淵、遼東に自立</p> <p>228 呉の滅亡</p> <p>280 呉を滅ぼし天下を統一</p> <p>239～297 [三国志]</p> <p>290 八王の乱 (~306)</p> <p>290 外民族の反乱始まる</p> <p>304～439 五胡十六国時代</p> <p>304 永嘉の乱 (~316)</p> <p>316 西晋滅ぶ</p> <p>317 東晋興る (晋の南渡、首都建康)</p> <p>317～322 元帝 (司馬睿)</p> <p>317 慕容皝、燕王と称す (前燕 ~70)</p> <p>317 慕容暉、燕王と称す (前燕 ~70)</p> <p>317 柔然、モンゴル高原を支配</p> | | | <p>107 倭国王、後漢に使いを出す</p> <p>107 倭国王、後漢に使いを出す</p> <p>239 倭の邪馬台国の女王卑弥呼の使者、魏に至る</p> <p>266 倭の女王セウとの使者、晋に至る</p> | | | |
| 300 | <p>軍人皇帝時代</p> <p>235～284 軍人皇帝時代</p> <p>250 デキウス帝のキリスト教迫害</p> <p>260 ヴァレリアヌス、ササン朝のシャープール1世に敗れ、捕虜となる</p> <p>283～284 ヌメリアヌス</p> <p>284～305 ディオクレティアヌス…オリエント風の専制君主政 (ドミナトゥス) 始まる</p> <p>293 ディオクレティアヌスの四帝分治制</p> <p>303 キリスト教徒大迫害始まる</p> <p>306～337 コンスタンティヌス1世 (大帝)</p> <p>313 ミラノ勅令 (キリスト教信仰の公認)</p> <p>324 四帝分治制を廃止、再統一</p> <p>325 ニケーア公会議 (アタナシウス派を正統とし、アリウス派を異端とする)</p> <p>330 ビザンティウムに遷都 (コンスタンティノープルと改称)</p> <p>361～363 ユリアヌス (「背教者」)</p> <p>372 フン人、ヴォルガ川を渡り、ゴートに迫る</p> <p>375 西ゴート人、フン人に圧迫され、南下を開始 (ゲルマン人移動の発端)</p> <p>376 西ゴート人、ドナウ川の南に移る</p> <p>378 アドリアノーブルの戦い (ヴァレンス帝戦死)</p> <p>379～395 テオドシウス (大帝)</p> <p>380 キリスト教信仰令</p> <p>392 キリスト教を国教とする (異教礼拝を禁止)</p> <p>394 古代最後のオリンピック競技</p> <p>395 ローマ帝国の東西分裂</p> | | | | <p>241～244 ローマ、ササン朝と戦う</p> <p>296～297 ローマ、ササン朝と戦い、メソポタミアを領有</p> | <p>241～244 ローマ、ササン朝と戦う</p> <p>296～297 ローマ、ササン朝と戦い、メソポタミアを領有</p> | | <p>180頃～240頃 ナーガールジュナ (竜樹、大乗仏教の理論確立)</p> <p>230頃 サータヴァーハナ朝滅ぶ</p> <p>インド分裂状態となる</p> | <p>289 慕容廆、晋に服す</p> | <p>魏 (220～265)</p> <p>蜀 (221～263)</p> <p>呉 (222～280)</p> <p>220～226 曹丕 (文帝)</p> <p>221～223 劉備 (昭烈帝)</p> <p>222～252 孫権 (大帝)</p> <p>229 孫権、帝位につく</p> <p>228 公孫淵、遼東に自立</p> <p>228 呉の滅亡</p> <p>280 呉を滅ぼし天下を統一</p> <p>239～297 [三国志]</p> <p>290 八王の乱 (~306)</p> <p>290 外民族の反乱始まる</p> <p>304～439 五胡十六国時代</p> <p>304 永嘉の乱 (~316)</p> <p>316 西晋滅ぶ</p> <p>317 東晋興る (晋の南渡、首都建康)</p> <p>317～322 元帝 (司馬睿)</p> <p>317 慕容皝、燕王と称す (前燕 ~70)</p> <p>317 慕容暉、燕王と称す (前燕 ~70)</p> <p>317 柔然、モンゴル高原を支配</p> | | | <p>239 倭の邪馬台国の女王卑弥呼の使者、魏に至る</p> <p>266 倭の女王セウとの使者、晋に至る</p> | | | |
| 400 | <p>西ゴート王国</p> <p>406 スエヴィ・ヴァンダル・アラン諸族、ヒスパニアに侵入</p> <p>410 西ゴート王アラルリック、ローマに侵入 (帝室のラヴェンナ遷都)</p> <p>434 アッティラ、フン王となる</p> <p>443 ブルグンド人、ロース川上流に王国を建設 (~534)</p> <p>451 カタラウヌムの戦い</p> <p>452 教皇レオ1世、アッティラを退去させる</p> <p>455 ヴァンダル人、侵入</p> <p>468 レオ1世、ボナ岬にヴァンダルと戦い、敗北</p> <p>481～751 メロヴィング朝</p> <p>481～511 クローヴィス</p> <p>486 ソワッソンの戦い</p> <p>493 東ゴート人、イタリアに建国 (首都ラヴェンナ)</p> <p>493～526 テオドリック (大王)</p> <p>496 クローヴィスのアナシウス派改宗</p> | | <p>413頃 アウグスティヌス、『神の国』を著す</p> <p>440～461 レオ1世</p> <p>449 アンブロジウス=サクソンのブリタニア侵入</p> <p>476 西ローマ帝国滅亡</p> <p>476～493 オドアケル、イタリアに君臨</p> <p>481～511 クローヴィス</p> <p>486 ソワッソンの戦い</p> <p>493 東ゴート人、イタリアに建国 (首都ラヴェンナ)</p> <p>493～526 テオドリック (大王)</p> | <p>395～518 テオドシウス朝 (首都コンスタンティノープル)</p> <p>408～450 テオドシウス2世</p> <p>420～422 ビザンツ、ササン朝と戦う</p> <p>431 エフェソス公会議 (ネストリウス派異端とされる)</p> <p>450～457 マルクキアヌス</p> <p>457～474 レオ1世</p> <p>465 コンスタンティノープル大火</p> <p>468 レオ1世、ボナ岬にヴァンダルと戦い、敗北</p> <p>484 エフタルに遠征、敗北</p> | <p>399 キリスト教徒迫害</p> | <p>399 キリスト教徒迫害</p> | | <p>376頃～414頃 チャンドラグプタ2世 (超日王)</p> <p>首都パターリプトラ</p> <p>グプタ朝領土最大</p> <p>サンスクリット文学黄金時代</p> <p>「マハーバータ」「ラーマヤナ」完成</p> <p>ナーランダー僧院創建</p> <p>詩聖カーリダーサ</p> <p>ヒन्दウー教の発展</p> <p>エフタルの侵入</p> | <p>394～414頃 社崙 たつ (402漢北に廻り可汗と称す)</p> <p>高車 (トルコ系) 興る</p> <p>449 柔然、北魏に討たれ衰退</p> | <p>魏 (220～265)</p> <p>蜀 (221～263)</p> <p>呉 (222～280)</p> <p>220～226 曹丕 (文帝)</p> <p>221～223 劉備 (昭烈帝)</p> <p>222～252 孫権 (大帝)</p> <p>229 孫権、帝位につく</p> <p>228 公孫淵、遼東に自立</p> <p>228 呉の滅亡</p> <p>280 呉を滅ぼし天下を統一</p> <p>239～297 [三国志]</p> <p>290 八王の乱 (~306)</p> <p>290 外民族の反乱始まる</p> <p>304～439 五胡十六国時代</p> <p>304 永嘉の乱 (~316)</p> <p>316 西晋滅ぶ</p> <p>317 東晋興る (晋の南渡、首都建康)</p> <p>317～322 元帝 (司馬睿)</p> <p>317 慕容皝、燕王と称す (前燕 ~70)</p> <p>317 慕容暉、燕王と称す (前燕 ~70)</p> <p>317 柔然、モンゴル高原を支配</p> | | | <p>313 高句麗、楽浪郡を滅ぼす</p> <p>343 高句麗、国内城を都とする</p> <p>百濟興る (近肖古王)</p> <p>新羅興る (奈勿王)</p> <p>367 百濟の使者、倭に來訪</p> <p>372 高句麗に前秦より仏教伝わる</p> <p>391～412 高句麗、広開土王</p> <p>391 後軍、高句麗と戦う (広開土王碑)</p> <p>404 帯方郡の故地に倭軍、高句麗と戦う</p> <p>413 倭王讃 (仁徳天皇?) の使者、東晋に至る</p> | | | |
| 500 | <p>470 スペインの大半征服</p> | | | | | | | | <p>449 柔然、北魏に討たれ衰退</p> | <p>420 東晋倒れ、宋興る [南朝]</p> | <p>南朝</p> <p>420 宋 (司馬睿)</p> <p>420 東晋倒れ、宋興る [南朝]</p> | | <p>403～404 桓帝</p> <p>陶潜 365頃～427</p> <p>謝靈運 385～433</p> <p>413 土断法施行</p> <p>420 東晋倒れ、宋興る [南朝]</p> | <p>442 太武帝、道教を国教化</p> <p>443 これより連年、西域を討つ</p> <p>446 太武帝、仏教を弾圧</p> <p>雲崗の石窟</p> <p>471～499 孝文帝</p> <p>485 均田制を実施</p> <p>486 三長制を実施</p> <p>494 洛陽遷都。竜門の石窟</p> | <p>450 高句麗、新羅を攻撃</p> <p>475 高句麗、百濟の都漢城を陥れる。百濟、熊津に遷都</p> <p>489 高句麗、新羅の孤山城を陥れる</p> <p>494 夫余人、高句麗に降る</p> | <p>478 倭王武、遣使上表文</p> |

| 年代 | 西 ヨーロッパ | | | 中央ヨーロッパ | | 北ヨーロッパ | 東ヨーロッパ | 西アジア | 中央ユーラシア | 南アジア | 北アジア | 東アジア | | | 年代 |
|------|--|--|--|---|---|--|--|--|---|--|--|--|----|----|----|
| | スペイン・ポルトガル | イングランド王国 | フランス王国 | 神聖ローマ帝国 | ローマ教会・イタリア諸邦 | | ビザンツ帝国 | オスマン帝国 | ティムール帝国 | | タタール オイラト | 明 | 朝鮮 | 日本 | |
| 1450 | 1415 ポルトガル王子エンリケ (航海王子)、セウタ攻略 | 1399~1461 ランカスター朝 1399~1413 ヘンリ4世 1415 アザンクールの戦い 1420 トロワの和約 | ○フランドル画派 ファン・アイイク兄弟 1366頃~1426、1380頃~1441 1422~61 シヤルル7世 1429 ジヤンヌ=ダルク、オルレアン の囲みを解く | 1415 フスの火刑 1419~36 フス戦争 | 1409 ビサ公会議。三教皇の並立 1414~18 コンスタンツ公会議 1417 教皇ローマ復帰 1431~49 バーゼル公会議 1434~94 フィレンツェ、メディチ家の執政期 1439 フィレンツェ公会議 1442 アラゴン家、シチリア王を兼ねる | 1410 タンネンベルクの戦い 1440 ポーランド王、ハンガリー王を兼ねる 1448~81 [デンマーク] クリスチャン1世 | 1422 オスマン軍、コンスタンティノープル包囲 1430 クリム=ハン国独立 1445 カザン=ハン国独立 1446 オスマン軍、モレア(ペロポネソス半島)侵入 1448~53 コンスタンティノス11世 | 1402 アンカラの戦い 、オスマン帝国一時壊滅 1413~21 メフメト1世、オスマン帝国再興 | 1405 ティムール、中国遠征途上に没 1409~47 シャール=ルフ | 14世紀末~1511 マラッカ王国 1414~51 インド、サイイド朝 1428~1527、1532~1789 [ベトナム] 黎朝 | 1410~24 永楽帝のタタール遠征 ○ [四書大全] の編纂 ○ [永楽大典] 1421 北京遷都(順天府) ○ 羅貫中 「 三国志演義 」 1425~35 宣宗(宣德帝) 1435~49 英宗(正統帝) 1448 福建で鄧茂七が反乱 1449 土木の変 (オイラト侵入、英宗を捕虜とする) | 1402 足利義満、明の国書受ける 1404 明と通商 (勘合貿易) 1418~50 世宗 1419 応永の外寇 ○ 儒教の国教化 ○ 仏教改革 1423 [高麗史] 編纂 1446 訓民正音(ハングル) 公布 1428 正長の徳政一揆 1429 中山王尚巴志、琉球を統一 1441 嘉吉の乱 | | | |
| | 1445 ポルトガル人、ヴェルデ岬到達 | 1453 百年戦争終了(イギリス、カレーを保持) 1455~85 バラ戦争 1461~85 ヨーク朝 1461~83 エドワード4世 | 1461~83 ルイ11世 1467 シャルルヌーヴ公となる | 1457 ドイツ騎士団、ケーニヒスベルクに移る | 1458~64 ピウス2世 1471~84 シクストゥス4世 ○ ルネサンス文化全盛 1478 メディチ家の独裁体制固まる 1492 コジモの孫ロレンツォ没(1449~) フィレンツェのメディチ家、政権を失う 1492~1503 アレクサンデル6世 1493 教皇分界線設定 1498 サヴォナローラ刑死(1451~) ○ ルネサンス盛期 ○ 建築 プラマンテ 1444~1514 ○ 絵画 レオナルド=ダ=ヴィンチ 1452~1519 ミケランジェロ 1475~1564 ラファエロ 1483~1520 | 1471 ヤゲウォ家、ペーメン支配 1481~1513 デンマーク王 ハンス(1497 兼スウェーデン王) 1490 ヤゲウォ家、ハンガリー支配 1497 北欧王国同盟 | 1451~81 メフメト2世 1453 オスマン軍、コンスタンティノープルを陥れる(ビザンツ帝国滅ぶ) ○コンスタンティノープルをイスタンブルと改名 1459 セルビア併合 1460 キリシヤ全土併合 1463~79 ヴェネツィアと戦う 1464 ワラキア占領 1475 クリミア攻略 1478 アルバニア攻略 1481~1512 バヤジッ2世 ○バルカン半島の大部分征服 | ○国内紛争続く | 1451~1526 インド、ロディー朝 1471 黎朝、チャンパーを壊滅させる 1478 遼東に馬市を再開する | 1449~57 代宗(景泰帝) 1451 [高麗史] の撰修 1467 建州女直を攻撃 1470 [経国大典] 刊行頒布 1484 [東国通鑑] 完成 1489 儒書を諸道に頒布 1495 北条早雲、小田原に拠る 1497 本願寺蓮如、大坂石山本願寺を築く | | | | | |
| | 1460 ポルトガル王子エンリケ (航海王子)没(1394~) | 1474~1504 カスティリヤ女王イサベル | 1480 イングランド、スコットランドと戦う | 1483~98 シャルル8世 | 1493~1519 マクシミリアン1世 シャルル8世イタリア遠征 1499 スイス同盟、ドイツの支配を脱す | 1501 ボーランド・リトアニア同盟 | 1502 キプチャク=ハン国滅ぶ | 1499~1503 ヴェネツィアと戦う 1512~20 セリム1世 1517 エジプト占領(マムルーク朝の滅亡) 1520~66 スレイマン1世(大帝) 1526 モハーチの戦いでハンガリー軍を破る 1526~32 オスマン軍のオーストリア侵入 1529 第1次ウィーン包囲 1534 スレイマン1世、バグダード攻撃 1538 プレヴェザの海戦 1541 ハンガリーの大半を征服 | 1507 ティムール帝国滅ぶ サファヴィー朝 1501 イスマーイール1世(24)の建国 1512 [中央ユーラシア]ヒヴァ =ハン国興る | 1502 ガマ、コーチンに商館を開く 1510 ポルトガル人、ゴア占領 1511 ポルトガル人、マラッカ占領 1519~22 マゼランの世界周航 1526 パーニーパットの戦い 。 ムガル帝国 成立 1526~30 バール 1538 シク教の開祖ナーナク没(1469~) 1531 ビルマにタウンギー朝建国 | 1501 タタールのダヤン=ハン、オルドスに侵入 1502 [大明会典] 完成 1517 ポルトガル人、広州に来航 ○ 明の四唐寅(六如)1470~1523 ○ 大画家 仇英(十洲)?? 文徵明(衡山) 1470~1559 1521~66 世宗(嘉靖帝) ○ モンゴル人と倭寇の中国への侵入(北虜南倭) 1528 王守仁(陽明)没(1472~、陽明学の祖) 1542~82 タタールのアルタン=ハーン 1550 アルタン=ハーン、北京包囲 | 1510 三浦の乱(日本人居留民の反乱) 1512 三浦の日本人居留地を廃止 1517 ポルトガル人、広州に来航 ○ 沈周(石田)1427~1509 ○ 唐寅(六如)1470~1523 ○ 大画家 仇英(十洲)?? 文徵明(衡山) 1470~1559 1521~66 世宗(嘉靖帝) ○ モンゴル人と倭寇の中国への侵入(北虜南倭) 1528 王守仁(陽明)没(1472~、陽明学の祖) 1542~82 タタールのアルタン=ハーン 1550 アルタン=ハーン、北京包囲 | | | |
| | 1479 カスティリヤ・アラゴン合同(スペイン王国の成立) | 1488 バルトロメウ=ディアス、喜望峯に到達 | 1485~1603 テューダ朝 1485~1509 ヘンリ7世 ○ テューダ朝の専制君主権確立 ○ 第1次開い込み運動 始まる | 1494 イタリア戦争始まる 。 | 1509 エラスムス [愚神礼賛] 1517 ルター、九十五カ条の論題発表 1519 ライプツィヒ討論 1519~56 カール5世(スペイン王カルロス1世) 1521 ヴォルムス帝国議会 (ルターに帝国追放刑) 1521 ルターを破門 1523 ツヴィングリ、宗教改革を開始 1523~34 クレメンス7世 1526 カール5世に対するコニャック神聖同盟 1527 ドイツ軍のローマ略奪 1527 マキャヴェリ没(1469~) 1534~49 パウルス3世 1534 イエズス会設立 { 1491~1556 ロヨラ 1506~1552 ザビエル 1536 カルヴァン 「 キリスト教綱要 」 1540 イエズス会公認 1541 カルヴァン、ジュネーヴにて宗教改革を開始 1545~63 トリेंट公会議 | 1521 カルマル同盟を解消し、スウェーデン王国独立(ルター派に帰依) 1543 コペルニクス、地動説を発表(同年没) 1547 イヴァン4世 初めて全ロシアのツァーリ(皇帝)を称す 1547 イヴァン4世 初めて全ロシアのツァーリ(皇帝)を称す | 1521 リャザン公国併合 1533~84 イヴァン4世(母后エレナ摂政、~1538) 1538 プレヴェザの海戦 1541 ハンガリーの大半を征服 | 1520 ムガル帝国 成立 1526~30 バール 1538 シク教の開祖ナーナク没(1469~) 1531 ビルマにタウンギー朝建国 | 1501 タタールのダヤン=ハン、オルドスに侵入 1502 [大明会典] 完成 1517 ポルトガル人、広州に来航 ○ 明の四唐寅(六如)1470~1523 ○ 大画家 仇英(十洲)?? 文徵明(衡山) 1470~1559 1521~66 世宗(嘉靖帝) ○ モンゴル人と倭寇の中国への侵入(北虜南倭) 1528 王守仁(陽明)没(1472~、陽明学の祖) 1542~82 タタールのアルタン=ハーン 1550 アルタン=ハーン、北京包囲 | 1510 三浦の乱(日本人居留民の反乱) 1512 三浦の日本人居留地を廃止 1517 ポルトガル人、広州に来航 ○ 沈周(石田)1427~1509 ○ 唐寅(六如)1470~1523 ○ 大画家 仇英(十洲)?? 文徵明(衡山) 1470~1559 1521~66 世宗(嘉靖帝) ○ モンゴル人と倭寇の中国への侵入(北虜南倭) 1528 王守仁(陽明)没(1472~、陽明学の祖) 1542~82 タタールのアルタン=ハーン 1550 アルタン=ハーン、北京包囲 | | | | | |
| | 1492 グラナダ陥落(スペイン統一完成) | 1492 コロンブス、北米到達(第1回探検) 1494 トルデシヤス条約 1497 アメリゴ=ヴェスプッチの航海(~99南米到達) 1498 ヴァスコ=ダ=ガマ、インドのカリカットに到達(インド航路の開拓) ジョヴァンニ=カボット、北米海岸到達 1500 カブラル、ブラジル到達 | 1506 セントローレンス湾の探検 1515~47 フランソワ1世 1521~44 ドイツ・フランス両君主間のイタリア戦争 1526 コニャック神聖同盟 1529 第1次ウィーン包囲 | 1509 エラスムス [愚神礼賛] 1517 ルター、九十五カ条の論題発表 1519 ライプツィヒ討論 1519~56 カール5世(スペイン王カルロス1世) 1521 ヴォルムス帝国議会 (ルターに帝国追放刑) 1521 ルターを破門 1523 ツヴィングリ、宗教改革を開始 1523~34 クレメンス7世 1526 カール5世に対するコニャック神聖同盟 1527 ドイツ軍のローマ略奪 1527 マキャヴェリ没(1469~) 1534~49 パウルス3世 1534 イエズス会設立 { 1491~1556 ロヨラ 1506~1552 ザビエル 1536 カルヴァン 「 キリスト教綱要 」 1540 イエズス会公認 1541 カルヴァン、ジュネーヴにて宗教改革を開始 1545~63 トリेंट公会議 | 1501 ボーランド・リトアニア同盟 1523 カルマル同盟を解消し、スウェーデン王国独立(ルター派に帰依) 1543 コペルニクス、地動説を発表(同年没) 1547 イヴァン4世 初めて全ロシアのツァーリ(皇帝)を称す | 1502 キプチャク=ハン国滅ぶ 1520 ムガル帝国 成立 1526~30 バール 1538 シク教の開祖ナーナク没(1469~) 1531 ビルマにタウンギー朝建国 | 1499~1503 ヴェネツィアと戦う 1512~20 セリム1世 1517 エジプト占領(マムルーク朝の滅亡) 1520~66 スレイマン1世(大帝) 1526 モハーチの戦いでハンガリー軍を破る 1526~32 オスマン軍のオーストリア侵入 1529 第1次ウィーン包囲 1534 スレイマン1世、バグダード攻撃 1538 プレヴェザの海戦 1541 ハンガリーの大半を征服 | 1507 ティムール帝国滅ぶ サファヴィー朝 1501 イスマーイール1世(24)の建国 1512 [中央ユーラシア]ヒヴァ =ハン国興る | 1502 ガマ、コーチンに商館を開く 1510 ポルトガル人、ゴア占領 1511 ポルトガル人、マラッカ占領 1519~22 マゼランの世界周航 1526 パーニーパットの戦い 。 ムガル帝国 成立 1526~30 バール 1538 シク教の開祖ナーナク没(1469~) 1531 ビルマにタウンギー朝建国 | 1501 タタールのダヤン=ハン、オルドスに侵入 1502 [大明会典] 完成 1517 ポルトガル人、広州に来航 ○ 明の四唐寅(六如)1470~1523 ○ 大画家 仇英(十洲)?? 文徵明(衡山) 1470~1559 1521~66 世宗(嘉靖帝) ○ モンゴル人と倭寇の中国への侵入(北虜南倭) 1528 王守仁(陽明)没(1472~、陽明学の祖) 1542~82 タタールのアルタン=ハーン 1550 アルタン=ハーン、北京包囲 | 1510 三浦の乱(日本人居留民の反乱) 1512 三浦の日本人居留地を廃止 1517 ポルトガル人、広州に来航 ○ 沈周(石田)1427~1509 ○ 唐寅(六如)1470~1523 ○ 大画家 仇英(十洲)?? 文徵明(衡山) 1470~1559 1521~66 世宗(嘉靖帝) ○ モンゴル人と倭寇の中国への侵入(北虜南倭) 1528 王守仁(陽明)没(1472~、陽明学の祖) 1542~82 タタールのアルタン=ハーン 1550 アルタン=ハーン、北京包囲 | | | | |
| | 1492 コロンブス、北米到達(第1回探検) | 1494 トルデシヤス条約 | 1497 アメリゴ=ヴェスプッチの航海(~99南米到達) | 1498 ヴァスコ=ダ=ガマ、インドのカリカットに到達(インド航路の開拓) | 1509 エラスムス [愚神礼賛] 1517 ルター、九十五カ条の論題発表 1519 ライプツィヒ討論 1519~56 カール5世(スペイン王カルロス1世) 1521 ヴォルムス帝国議会 (ルターに帝国追放刑) 1521 ルターを破門 1523 ツヴィングリ、宗教改革を開始 1523~34 クレメンス7世 1526 カール5世に対するコニャック神聖同盟 1527 ドイツ軍のローマ略奪 1527 マキャヴェリ没(1469~) 1534~49 パウルス3世 1534 イエズス会設立 { 1491~1556 ロヨラ 1506~1552 ザビエル 1536 カルヴァン 「 キリスト教綱要 」 1540 イエズス会公認 1541 カルヴァン、ジュネーヴにて宗教改革を開始 1545~63 トリेंट公会議 | 1501 ボーランド・リトアニア同盟 1523 カルマル同盟を解消し、スウェーデン王国独立(ルター派に帰依) 1543 コペルニクス、地動説を発表(同年没) 1547 イヴァン4世 初めて全ロシアのツァーリ(皇帝)を称す | 1502 キプチャク=ハン国滅ぶ 1520 ムガル帝国 成立 1526~30 バール 1538 シク教の開祖ナーナク没(1469~) 1531 ビルマにタウンギー朝建国 | 1499~1503 ヴェネツィアと戦う 1512~20 セリム1世 1517 エジプト占領(マムルーク朝の滅亡) 1520~66 スレイマン1世(大帝) 1526 モハーチの戦いでハンガリー軍を破る 1526~32 オスマン軍のオーストリア侵入 1529 第1次ウィーン包囲 1534 スレイマン1世、バグダード攻撃 1538 プレヴェザの海戦 1541 ハンガリーの大半を征服 | 1507 ティムール帝国滅ぶ サファヴィー朝 1501 イスマーイール1世(24)の建国 1512 [中央ユーラシア]ヒヴァ =ハン国興る | 1502 ガマ、コーチンに商館を開く 1510 ポルトガル人、ゴア占領 1511 ポルトガル人、マラッカ占領 1519~22 マゼランの世界周航 1526 パーニーパットの戦い 。 ムガル帝国 成立 1526~30 バール 1538 シク教の開祖ナーナク没(1469~) 1531 ビルマにタウンギー朝建国 | 1501 タタールのダヤン=ハン、オルドスに侵入 1502 [大明会典] 完成 1517 ポルトガル人、広州に来航 ○ 明の四唐寅(六如)1470~1523 ○ 大画家 仇英(十洲)?? 文徵明(衡山) 1470~1559 1521~66 世宗(嘉靖帝) ○ モンゴル人と倭寇の中国への侵入(北虜南倭) 1528 王守仁(陽明)没(1472~、陽明学の祖) 1542~82 タタールのアルタン=ハーン 1550 アルタン=ハーン、北京包囲 | 1510 三浦の乱(日本人居留民の反乱) 1512 三浦の日本人居留地を廃止 1517 ポルトガル人、広州に来航 ○ 沈周(石田)1427~1509 ○ 唐寅(六如)1470~1523 ○ 大画家 仇英(十洲)?? 文徵明(衡山) 1470~1559 1521~66 世宗(嘉靖帝) ○ モンゴル人と倭寇の中国への侵入(北虜南倭) 1528 王守仁(陽明)没(1472~、陽明学の祖) 1542~82 タタールのアルタン=ハーン 1550 アルタン=ハーン、北京包囲 | | | |
| | 1492 コロンブス、北米到達(第1回探検) | 1494 トルデシヤス条約 | 1497 アメリゴ=ヴェスプッチの航海(~99南米到達) | 1498 ヴァスコ=ダ=ガマ、インドのカリカットに到達(インド航路の開拓) | 1509 エラスムス [愚神礼賛] 1517 ルター、九十五カ条の論題発表 1519 ライプツィヒ討論 1519~56 カール5世(スペイン王カルロス1世) 1521 ヴォルムス帝国議会 (ルターに帝国追放刑) 1521 ルターを破門 1523 ツヴィングリ、宗教改革を開始 1523~34 クレメンス7世 1526 カール5世に対するコニャック神聖同盟 1527 ドイツ軍のローマ略奪 1527 マキャヴェリ没(1469~) 1534~49 パウルス3世 1534 イエズス会設立 { 1491~1556 ロヨラ 1506~1552 ザビエル 1536 カルヴァン 「 キリスト教綱要 」 1540 イエズス会公認 1541 カルヴァン、ジュネーヴにて宗教改革を開始 1545~63 トリेंट公会議 | 1501 ボーランド・リトアニア同盟 1523 カルマル同盟を解消し、スウェーデン王国独立(ルター派に帰依) 1543 コペルニクス、地動説を発表(同年没) 1547 イヴァン4世 初めて全ロシアのツァーリ(皇帝)を称す | 1502 キプチャク=ハン国滅ぶ 1520 ムガル帝国 成立 1526~30 バール 1538 シク教の開祖ナーナク没(1469~) 1531 ビルマにタウンギー朝建国 | 1499~1503 ヴェネツィアと戦う 1512~20 セリム1世 1517 エジプト占領(マムルーク朝の滅亡) 1520~66 スレイマン1世(大帝) 1526 モハーチの戦いでハンガリー軍を破る 1526~32 オスマン軍のオーストリア侵入 1529 第1次ウィーン包囲 1534 スレイマン1世、バグダード攻撃 1538 プレヴェザの海戦 1541 ハンガリーの大半を征服 | 1507 ティムール帝国滅ぶ サファヴィー朝 1501 イスマーイール1世(24)の建国 1512 [中央ユーラシア]ヒヴァ =ハン国興る | 1502 ガマ、コーチンに商館を開く 1510 ポルトガル人、ゴア占領 1511 ポルトガル人、マラッカ占領 1519~22 マゼランの世界周航 1526 パーニーパットの戦い 。 ムガル帝国 成立 1526~30 バール 1538 シク教の開祖ナーナク没(1469~) 1531 ビルマにタウンギー朝建国 | 1501 タタールのダヤン=ハン、オルドスに侵入 1502 [大明会典] 完成 1517 ポルトガル人、広州に来航 ○ 明の四唐寅(六如)1470~1523 ○ 大画家 仇英(十洲)?? 文徵明(衡山) 1470~1559 1521~66 世宗(嘉靖帝) ○ モンゴル人と倭寇の中国への侵入(北虜南倭) 1528 王守仁(陽明)没(1472~、陽明学の祖) 1542~82 タタールのアルタン=ハーン 1550 アルタン=ハーン、北京包囲 | 1510 三浦の乱(日本人居留民の反乱) 1512 三浦の日本人居留地を廃止 1517 ポルトガル人、広州に来航 ○ 沈周(石田)1427~1509 ○ 唐寅(六如)1470~1523 ○ 大画家 仇英(十洲)?? 文徵明(衡山) 1470~1559 1521~66 世宗(嘉靖帝) ○ モンゴル人と倭寇の中国への侵入(北虜南倭) 1528 王守仁(陽明)没(1472~、陽明学の祖) 1542~82 タタールのアルタン=ハーン 1550 アルタン=ハーン、北京包囲 | | | |
| | 1492 コロンブス、北米到達(第1回探検) | 1494 トルデシヤス条約 | 1497 アメリゴ=ヴェスプッチの航海(~99南米到達) | 1498 ヴァスコ=ダ=ガマ、インドのカリカットに到達(インド航路の開拓) | 1509 エラスムス [愚神礼賛] 1517 ルター、九十五カ条の論題発表 1519 ライプツィヒ討論 1519~56 カール5世(スペイン王カルロス1世) 1521 ヴォルムス帝国議会 (ルターに帝国追放刑) 1521 ルターを破門 1523 ツヴィングリ、宗教改革を開始 1523~34 クレメンス7世 1526 カール5世に対するコニャック神聖同盟 1527 ドイツ軍のローマ略奪 1527 マキャヴェリ没(1469~) 1534~49 パウルス3世 1534 イエズス会設立 { 1491~1556 ロヨラ 1506~1552 ザビエル 1536 カルヴァン 「 キリスト教綱要 」 1540 イエズス会公認 1541 カルヴァン、ジュネーヴにて宗教改革を開始 1545~63 トリेंट公会議 | 1501 ボーランド・リトアニア同盟 1523 カルマル同盟を解消し、スウェーデン王国独立(ルター派に帰依) 1543 コ | | | | | | | | | |

| 年代 | 太平洋・アフリカ | アメリカ | 西ヨーロッパ | | 南ヨーロッパ | 中央ヨーロッパ | | 東ヨーロッパ | 西アジア | 南アジア | 東アジア | | | 年代 |
|------|---|--|--|--|--|--|---|--|--|--|---|---|---|----|
| | | アメリカ合衆国 | イギリス王国 | フランス共和国 | イタリア諸邦 | プロイセン王国・ドイツ連邦 | オーストリア帝国 | ロシア帝国 バルカン諸国 | オスマン帝国 イランなど | インド・東南アジア | 清 | 朝鮮 | 日本 | |
| 1860 | ニューゼーランド、マオリ戦争 (~72) | 1861~65 リンカン(共和党) 1861~65 南北戦争 1861~67 メキシコ内乱(英・仏およびスペイン各国軍のメキシコ遠征) 1862 ホームステッド法制定 1863 奴隷解放宣言 1865 リンカン暗殺される 1865~69 ジョンソン(民主党) | 1863 ロンドン地下鉄開通 1864~76 第1インターナショナル(国際労働者協会) | | 1860 ガリバルディ、シチリア・ナポリ征服 イタリヤ王国 1861 イタリア王国成立 1861~78 ヴィットーリオ=エマヌエーレ2世 | 1860 ショーベンハウエル没(1788~) 1861~88 ヴィルヘルム1世 1862~90 ビスマルク首相 1863 ラサール、全ドイツ労働者協会結成 1864 デンマーク戦争 | 1861 憲法発布。農奴解放令 1864 国際赤十字社発足 1865 メンデルの法則 オーストリア=ハンガリー帝国 1867 オーストリア=ハンガリー二重帝国の成立 | 1860 北京条約(沿海州を獲得) 1861 農奴解放令 1862 トゥルゲーネフ「父と子」 1863~69 トルストイ「戦争と平和」 | | 1862 サイゴン条約(フランス、コーチシナの一部を獲得) 1863 フランス、カンボジアを保護国とする 1865 カルカッタ・ロンドン間の電信連絡始まる 1867 海峡植民地、英直轄地となる 1868~1910 シャム王ラーマ5世(チュラロンコン大王) | 1860 英仏連合軍、北京占領、円明園を焼く。北京条約 ○洋務運動始まる 1861 総理衙門設立 1861~75 同治帝(穆宗) 1863 ゴードン、常勝軍を指揮 1864 太平天国滅ぶ 1865 捻軍、山東に入る(~68 鎮圧) | 1860 崔濟愚、東学を唱導 1863~1907 高宗 1863~73 大院君摂政 1866 キリスト教大弾圧 | 1860 桜田門外の変 1862 坂下門外の変 1862 生麦事件 1863 薩英戦争 1864 四国連合艦隊下関砲撃 1867~1912 明治天皇 1867 大政奉還。王政復古の大号令 1868 戊辰戦争。五箇条の誓文 1869 版籍奉還。官制改革 | |
| | オレンジ自由国でダイヤモンド鉱発見 1869 スエズ運河開通(レセップス) | 1866 大西洋横断海底ケーブル敷設 1867 アラスカ買収(ロシアより) 1869 大陸横断鉄道開通(グラント(共和党)) | | 1867 ルクセンブルク公国、永世中立国となる | 1866 ヴェネツィア併合 | 1866 プロイセン=オーストリア戦争 1867 北ドイツ連邦成立(~71)。マルクス「資本論」第1巻 | 1864 普ハラ=ハン国を保護国とする 1869 メンデレーエフ、元素の周期律を発見 | | 1871 シュリーマン、トロイア発掘 1873~1912 アチエ戦争 1875 ポスニア蜂起 1876 ブルガリアで全国的反乱 1876~1909 アプデュル=ハミト2世 1876 ミドハト憲法公布 1877 英領インド成立(インド帝国) | 1871 上海・香港間の海底ケーブル開通(欧米各国と電信連絡) 1871~81 ロシア、イリ地方を占領 1874 日清両国間互換条約(台湾問題) 1875~1908 光緒帝(徳宗)。東太后摂政(~81) 西太后摂政(~89) | 1871 アメリカー艦来航 1871 岩倉具視らを欧米に派遣 1872 新橋・横浜間鉄道開通。太陽暦採用。学制頒布 1873 閔氏、政権を掌握 1874 台湾出兵(台湾問題) 1875 樺太・千島交換条約 1877 西南戦争 1879 琉球藩を廃し、沖縄県を置く | | | |
| 1870 | スタンリー・リビングストンの会見 1874 イギリス、フィジー諸島占領 1875 アメリカ、ハワイ王と通商互惠条約 | 1876 リトル=ビッグホーンの戦い 1876 ベル、電話機発明 1877 エディソン、蓄音機発明 1879 エディソン、電灯発明 | 1870 アイランド土地法(70年法)制定 1871 労働組合法制定 1874~80 第2次ディズレーリ保守党内閣 1875 スエズ運河株式買収 1877 ヴィクトリア、インド皇帝となる | 1870~71 プロイセン=フランス戦争 1870 教皇領を併合、イタリアの統一完成 1871 ローマ、首都となる ○産業革命期に入る 1871 臨時政府成立(首班ティエール、~73) 1871 パリ=コミュン 1873 賠償金をドイツに皆済 1875 第三共和国憲法制定 1877 ソラ「居酒屋」 | 1870 エムス電報事件 1871 ドイツ帝国成立 1871~88 ドイツ皇帝ヴィルヘルム1世 1871~90 帝国宰相ビスマルク 1871~80 文化闘争 1873 第三帝 1873 社会主義労働者党の結成。ゴータ綱領 | 1870 エムス電報事件 1871 ドイツ帝国成立 1871~88 ドイツ皇帝ヴィルヘルム1世 1871~90 帝国宰相ビスマルク 1871~80 文化闘争 1873 第三帝 1873 社会主義労働者党の結成。ゴータ綱領 | | 1875 ヒヴァ=ハン国を保護国とする 1875 樺太・千島交換条約 1876 コーカンド=ハン国併合 1877~78 ロシア=トルコ戦争 1878.3 サン=ステファン条約 | | 1877 英領インド成立(インド帝国) | 1875~1908 光緒帝(徳宗)。東太后摂政(~81) 西太后摂政(~89) | 1875 江華島事件 1876 日朝修好条約(江華条約) 1877 日清修好条約(日本開化小史) 1877 西南戦争 1879 琉球藩を廃し、沖縄県を置く | | |
| | 1878 キプロス島領有 | 1879 エディソン、電灯発明 | 1878 1878.6~7 ベルリン会議 | 1878 ラ=マルセイエーズ、国歌となる | 1878~1903 教皇レオ13世 | 1878 社会主義者鎮圧法(~90) 1879 ドイツ・オーストリア同盟 | | | 1878~80 第2次アフガン戦争(イギリスのアフガニスタン支配の進行) | 1878 左宗棠、新疆の乱平定 | 1878 左宗棠、新疆の乱平定 | 1878 李鴻章、海軍を創設 1880 元山を開港 1881 元山開港 1881 元山開港の詔。自由党結成 1882 米・英・独と修好条約 1882 立憲改進黨結成 1882 日本銀行設立 1884 甲申政変 1885 内閣制度創始 | | |
| 1880 | 1881 フランス、チュニジアを保護国とする。スーダンでマフディー派の抵抗。エジプト、ウラビー運動 1882 イギリスのエジプト支配始まる 1884 アメリカ、真珠湾租借 1885 ドイツ、マール諸島占領 1886 トランスヴァールで金鉱発見 1889 イタリア、ソマリランド領有 | 1880~85 第2次グラッドストーン自由党内閣 1881 アイランド土地法(81年法)成立 1882 エジプトを軍事占領 1884 フェビアン協会結成 1884 第3回選挙法改正(自由党内閣) 1884~85 アフリカ分割に関するベルリン列国会議 1885 エドワード(1802~)年法) 1885 エドワード(1802~)年法) 1886 アイランド自治法否決される 1887 イギリス植民地会議始まる 1889 エッフェル塔の建設 1889~1914 第2インターナショナル | 1881 チュニジアを保護国化 1883 モーパッサン「女の一生」 1884~85 清仏戦争 1885 エドワード(1802~)年法) 1885 エドワード(1802~)年法) 1886 アイランド自治法否決される 1887 イギリス植民地会議始まる 1889 エッフェル塔の建設 1889~1914 第2インターナショナル | 1881 セルビアと秘密条約 1882 三国同盟(ドイツ・オーストリア・イタリア) 1882 コッホ、結核菌発見 1883 コッホ、コレラ菌発見 1883 医療保険法成立 1884 災害保険法成立 1884 ドイツ、植民事業を開始 1884~86 ウィーン戒厳令 1887~90 独露再保障条約(ドイツ・ロシア同盟) 1888~1918 ヴィルヘルム2世 | 1881 イリ条約 1881 アレクサンドル2世暗殺される 1881~94 アレクサンドル3世 1881 ルーマニア王国成立 1882 セルビア王国成立 1885 ロシア、アフガニスタンに進出しイギリスと対抗 1887~90 ドイツと再保障条約 1888~1918 ヴィルヘルム2世 | 1881 イリ条約 1881 アレクサンドル2世暗殺される 1881~94 アレクサンドル3世 1881 ルーマニア王国成立 1882 セルビア王国成立 1885 ロシア、アフガニスタンに進出しイギリスと対抗 1887~90 ドイツと再保障条約 1888~1918 ヴィルヘルム2世 | | 1888 アナトリア鉄道協定締結。翌年より建設工事開始(ドイツ権益) 1888 アナトリア鉄道協定締結。翌年より建設工事開始(ドイツ権益) | 1888 フェア条約(フランス、トンキンを占領) 1883 全インド国民協議会発足 1884~85 清仏戦争 1885 第1回インド国民会議開催 1885 第3次イギリス=ビルマ戦争 1886 イギリス、ビルマを併合 1887 フランス領インドシナ連邦成立 | 1888 新疆省を新設 1885 ロシアとカシュガル西北境界条約 1885 朝鮮問題に関し日本と天津条約 フランスと天津条約(フランスの越南保護を認める) 1888 北洋海軍成立(提督、丁汝昌) 1889 光緒帝の親政始まる 1891 江蘇省無錫でカトリック教会焼討事件 1892 フィリピンでホセ=リサールがフィリピン民族同盟結成 1893 フランス、ラオスを保護国とする 1894 孫文、ハワイで興中会を興す 1895 康有為の変法運動始まる 1895 孫文、日本に亡命 1896 ロシアと東清鉄道契約成立 1897 ドイツに膠州湾を占領される 1898 膠州湾をドイツに、旅順・大連をロシアに、威海衛・九竜半島をイギリスに租借される。戊戌の政変(康有為の改革失敗) 1899 アメリカの門戸開放通牒。フランス、広州湾を租借。山東に義和団興る | 1888 元山を開港 1881 元山開港の詔。自由党結成 1882 米・英・独と修好条約 1882 立憲改進黨結成 1882 日本銀行設立 1884 甲申政変 1885 内閣制度創始 1888 市制・町村制公布 1889.2 大日本帝国憲法公布 1889.7 東海道本線開通 1890 教育勅語発布 1890 第1回帝国議会議開く 1893 東北本線開通。陸奥宗光、条約改正交渉開始 1894 金玉均殺される。甲午の革新 1894.5 甲午農民戦争 1895.4 下関条約 1895 乙未の事件(王妃閔妃殺害される) 1896 三陸大津波、死者27000人 1897 金本位制を施行 1897 国号改名 1898 独立協会の活動 1900~01 義和団戦争 1900 8カ国連合軍が北京入城。義和団鎮圧 1900 孫文の挙兵失敗(惠州事件) 1901 北京議定書 1902 纏足禁止令 1902 東清鉄道が全線営業 1903 ロシア、奉天占領 1903 黄興、華興会を結成 1904 膠濟鉄道開通 1905 孫文、中国同盟会結成。科挙の廃止。立憲大綱制定 1906 イギリスとチベット条約 | | | |
| | 1889 ニューゼーランドで世界初の女性参政権 1895 ローデシア成立 1895 フランス領西アフリカ成立 1896 エチオピア軍がイタリアを破る 1896 フランス、マガスカール領有 1896~98 スーダンでマフディー派の抵抗運動壊滅 1898 ファショダ事件 1899 イギリス、ソロモン諸島占領。ドイツ、南洋諸島占領 1899~1902 南アフリカ戦争 | 1890 第1回メーデー開催。警官隊と衝突 1890 シャーマン反トラスト法成立 1890 ウーンデッド=ニーで先住民大虐殺 1893 歴史家ターナーが「フロンティアは消滅した」と述べる 1893 ハワイで政変、女王リウオカラニが強制退位。エディソン、活動写真を発明 1895 キューバで反スペイン反乱 1897~1901 マッキンリー(共和党) 1898 ハワイ併合。アメリカ=スペイン戦争。フィリピン、米領となる 1899 オランダ・ハーグで第1回国際平和会議 1899~1902 南アフリカ戦争 1900 労働代表委員会結成 1901 英領オーストラリア連邦成立 1902 日英同盟 1902 キューバ独立 1902 炭鉱労働者長期スト突入 1903 パナマ独立。第2回パン=アメリカ会議。ライト兄弟、飛行機を発明 1904 アメリカの手でパナマ運河再起工 1905 世界産業労働者同盟(IWW)の成立 1906 サンフランシスコ大地震 1906 キューバを占領 1908 日米紳士協定 | 1891 露仏同盟成立 1891 セシル=ローズがケープ植民地首相となる 1891 新工場法制定、11歳未満の児童労働禁止 1893 ケア=ハーディが独立労働党を結成 1894 8時間労働法声明 1894~99 ドレフス事件 1895 労働総同盟結成 1898 ソラ「私は弾劾する」を発表 1898 露仏間のファショダ事件 1898 キュリー夫妻、ラジウムを発見 1899 広州湾租借 | 1895 エチオピアに侵攻、翌年アドワで敗北 1895 キール運河開通。レントゲン、X線発見 1897 スイスのパーゼルで第1回シオニスト会議 1897 ディーゼル内燃機関完成 1898 大規模な戦艦建造(建艦政策)始まる 1898 膠州湾租借(~1918) ビスマルク没(1815~) | 1895 キール運河開通。レントゲン、X線発見 1897 スイスのパーゼルで第1回シオニスト会議 1897 ディーゼル内燃機関完成 1898 大規模な戦艦建造(建艦政策)始まる 1898 膠州湾租借(~1918) ビスマルク没(1815~) | 1896 ドナウ川の鉄門開通。普通選挙実施 1900 ブランク「量子論」 1900 国王暗殺される 1900~46 エマヌエーレ3世 1902 仏伊協商 1903~14 教皇ピウス10世 1904 全土で大規模なゼネスト 1905 アインシュタイン、特殊相対性理論を発表 | 1900 社会民主党大会で修正主義反対案を決議 1905 ノルウェー)スウェーデンより分離独立 1905 ポーツマス条約 1906 初の国会開会 1906 ストルイブンの改革始まる 1907 第2インターナショナルが世界戦争反対宣言 1907 男性普通選挙法 1908 ボスニア・ヘルツェゴヴィナ併合 | 1900 社会革命党結成 1903 ロシア社会民主労働党、ボリシェヴィキとメンシェヴィキに分裂 1904~05 日露戦争 1905.1 血の日曜日事件 第1次ロシア革命 1905 【ノルウェー)スウェーデンより分離独立 1905 ポーツマス条約 1906 初の国会開会 1906 ストルイブンの改革始まる 1907 英露協商 1907 第1次日露協約 1908 パン=スラヴ会議 1909 ブルガリアが自治公国から正式独立へ | 1900 社会革命党結成 1903 ロシア社会民主労働党、ボリシェヴィキとメンシェヴィキに分裂 1904~05 日露戦争 1905.1 血の日曜日事件 第1次ロシア革命 1905 【ノルウェー)スウェーデンより分離独立 1905 ポーツマス条約 1906 初の国会開会 1906 ストルイブンの改革始まる 1907 英露協商 1907 第1次日露協約 1908 パン=スラヴ会議 1909 ブルガリアが自治公国から正式独立へ | 1904 イギリスがラサ条約でチベットを勢力下に組み込む 1905 イラン、立憲革命始まる 1906 イラン、立憲君主政の採用 1907 英露協商 1908 青年トルコ革命 1909~18 メフメト5世 | 1904 イギリスがラサ条約でチベットを勢力下に組み込む 1905 イラン、立憲革命始まる 1906 イラン、立憲君主政の採用 1907 英露協商 1908 青年トルコ革命 1909~18 メフメト5世 | 1900~01 義和団戦争 1900 8カ国連合軍が北京入城。義和団鎮圧 1900 孫文の挙兵失敗(惠州事件) 1901 北京議定書 1902 纏足禁止令 1902 東清鉄道が全線営業 1903 ロシア、奉天占領 1903 黄興、華興会を結成 1904 膠濟鉄道開通 1905 孫文、中国同盟会結成。科挙の廃止。立憲大綱制定 1906 イギリスとチベット条約 | 1900 治安警察法公布。立憲政友会結成 1901 八幡製鉄所開業 1902 日英同盟成立 1903 台湾で対日蜂起 1904~05 日露戦争 1905 第1次日露協約 1905 第2次日露協約 1905.9 ポーツマス条約 1906 抗日義兵部隊の蜂起 1906 南満洲鉄道会社設立 1907 ハーグ密使事件 1907 第3次日露協約 1908.8 憲法大綱発表 1908.11 光緒帝没、西太后没 1908.11~12 宣統帝(溥儀) 1909 日清、間島協約 1909.10 伊藤博文暗殺される(1841~) | |
| 1910 | 独仏モロッコ協定 | 1908 キューバを占領 1908 日米紳士協定 | 1908 カサブランカ事件 1909 ジイド「狭き門」。メーテルリンク「青い鳥」 | 1908 カサブランカ事件 1909 ジイド「狭き門」。メーテルリンク「青い鳥」 | 1908 カサブランカ事件 1909 ジイド「狭き門」。メーテルリンク「青い鳥」 | 1907 男性普通選挙法 1908 ボスニア・ヘルツェゴヴィナ併合 | 1909 ブルガリアが自治公国から正式独立へ | 1909~18 メフメト5世 | 1909 インド国民会議派と全インド=ムスリム連盟との提携 | 1909 日清、間島協約 | 1909 日清、間島協約 | 1909 日清、間島協約 | | |

| 年代 | 国際問題・国際連合 | アメリカ | 西ヨーロッパ | 中央ヨーロッパ | 南ヨーロッパ | 東ヨーロッパ | 西アジア | 南アジア | 東アジア | 年代 | | | |
|------|----------------|--|---|---|---|--|--|---|---|--|---|---|---|
| 1940 | 1940.9 日独伊三国同盟 | 1940.8 国防軍法成立 1940.10 「チャップリンの独裁者」公開 1941.3 武器貸与法成立 .5 国家非常事態宣言 .8 対石油禁輸、大西洋憲章成立 1941.12.8 日本軍、真珠湾攻撃。対日宣戦、対独伊宣戦 | 1940.5~45 チャーチル戦時連立内閣 1941.5 ロンドン大空襲 1941.12.8 対日宣戦 | 1940.5 ドイツ軍侵入 .6 ドイツに降伏 .6 ド=ゴール、ロンドンに自由フランス政府樹立 1940.9 日独伊三国同盟(枢軸陣営の強化) 1941.6 ドイツ・イタリア、対ソ宣戦 .12 ドイツ・イタリア、対アメリカ宣戦 1942.1 ユダヤ人大量虐殺を決定 1942.1~7 独伊軍、北アフリカ戦線で反撃 .8 ドイツ軍、カフカス侵攻、スターリングラードの一角突入 .11 英軍、キレナイカ再占領。ドイツ軍、チュニジア上陸 | 1940.3 ヒトラー・ムッソリーニのブレネル峠会談 1940.4 ドイツ軍、デンマーク・ノルウェー占領 1940.5 ドイツ軍、ベルギー・オランダも占領 1940.6 イタリアの参戦 1941.3 ブルガリアが日独伊三国同盟加盟 1941.6 ドイツ・イタリア、対ソ宣戦 .12 ドイツ・イタリア、対アメリカ宣戦 1942.1 ユダヤ人大量虐殺を決定 1942.1~7 独伊軍、北アフリカ戦線で反撃 .8 ドイツ軍、カフカス侵攻、スターリングラードの一角突入 .11 英軍、キレナイカ再占領。ドイツ軍、チュニジア上陸 1942.12 イベリア=ブロック結成 1943.7 連合軍、シチリア上陸。ファシスト党解散 .9 イタリア降伏(パドリオ政権) 1944.6 ローマ解放 | 1940.11 ハンガリー・ルーマニアが日独伊三国同盟加盟 1941.3 ブルガリアが日独伊三国同盟加盟 1941.6 ドイツ軍、ユーゴ侵攻。ギリシア、対独宣戦。ルーマニア対ソ宣戦 .7 ティトー、レジスタンス開始 1943.10 ティトのバルチザン部隊蜂起 1944.1 ソ連軍、ルーマニアを制圧 1944.8 ソ連軍、ルーマニアを制圧 1944.9 ソ連軍、ブルガリアを制圧 | 1940.6 ベッサラビア占領 .8 バルト3国併合 1941.5~53 首相スターリン 1941.6 ドイツ軍、対ソ攻撃開始 .9 ドイツ軍、レニングラード包囲 1942.8 ドイツ軍、スターリングラード突入 1942.8 ドイツ軍、スターリングラード突入 1943.2 スターリングラード攻防戦でドイツ軍が敗退 .5 コミンテルン解散 1944.1 レニングラード解放 1944.1 ソ連軍、ルーマニアを制圧 1944.8 ソ連軍、ルーマニアを制圧 1944.9 ソ連軍、ブルガリアを制圧 | 1941.4 エチオピアがイタリア軍を破り主権回復 .5 イラクの反英路線にイギリス軍が攻撃 .6 トルコ、ドイツと友好条約 .8 英ソがイラン占領 .9 イラン、中立宣言。シリア独立宣言 1941~79 イラン、パフレヴィー2世 1942 イラン、英ソと軍事同盟 1943.11 レバノン共和国成立 | 1940.3 全インド=ムスリム連盟がパキスタン独立構想を決議 1940.9 日本軍、仏領インドシナ北部進駐 1941.5 ベトナム独立同盟結成 .7 日本軍、仏領インドシナ南部進駐 .12 日本軍、マレー半島上陸 1942.1 日本軍、マニラ占領 .3 オランダ領東インド、日本に降伏 1942.3 フィリピンでフカラハップ結成 1943.8 日本の支援でビルマ独立宣言 .10 フィリピン共和国成立 .11 自由インド仮政府成立 | 1940.1 毛沢東「新民主主義論」 .3 汪兆銘、南京政府を設立 .8 八路軍が日本軍に総攻撃開始 1941.4 日ソ中立条約。日米会談開始 .12 マレー沖海戦でイギリス艦撃沈 .12.8 日本軍、真珠湾攻撃 1941.12.8 日本、対米英宣戦、太平洋戦争始まる(〜45.8.15) 1941.12 米・英と同盟、対日宣戦 1942.10 不平等条約改正 1943.9~48 蔣介石(国民政府主席) 1943.11 カイロ宣言 1943.2 ガダルカナル島敗退 1944.3 ビルマでインパール作戦 .6 米軍、サイパン上陸 .10 米軍、レイテ島上陸 | | | |
| | 1945 | 1945.2 ヤルタ会談 .6 連合国、国連憲章に調印 .7 ポツダム宣言 .10 国際連合発足 .11 ユネスコ憲章作成 1946.1 第1回国連総会。安全保障理事会成立 .4 国際連盟解散 .4 パリ四国外相会議 .7~10 パリ平和会議 .11 ユネスコ発足 1947.2 パリ平和条約 .4 モスクワ外相会議、米・ソ対立表面化 .10 関税及び貿易に関する一般協定(GATT) 1948.12 世界人権宣言 | 1945.4~53 トルーマン(民主党) 1945.7 初の原爆実験成功 1946.1 原子力委員会設置 .7 フィリピン独立 1947.3 トルーマン=ドクトリン .6 マーシャル=プラン提唱 .6 タフト=ハートレー法成立 .9 米州19カ国が相互援助条約調印(リオ条約) .9 CIA設立 1948.4 対外援助法。ボゴタ憲章(米州機構の成立) 1949.4 北大西洋条約機構(NATO)調印 | 1945.5 ヨーロッパ戦線終わる 1945.6 ドイツ四カ国分割占領 ○英米仏占領 ○ソ連占領 1945.7 四大国のオーストリア分割占領布告 1946.10 ニュルンベルク国際軍事裁判終わる 1947.1~54 オリオル 1947.7 ヨーロッパ経済復興会議(パリ) 1947.8 インド独立 1948.3 西ヨーロッパ連合条約(ブリュッセル条約) .4 ヨーロッパ経済協力機構(OEEC)結成(16カ国、マーシャル=プラン受け入れ) .7 社会保障制度実施 1949.3 フランス=ベトナム協定 | 1945.4 米ソ両国「エルベの誓い」 1945.5.7 ドイツ無条件降伏 1945.11~46 ド=ゴール内閣 1946~58 第四共和政 1947.1~54 オリオル 1948.6 通貨改革 1948.6 通貨改革 .6~49.5 ソ連によるベルリン封鎖 1949.5 ボン基本法 1949.9 ドイツ連邦共和国成立 1949.10 ドイツ民主共和国成立 1949.9~63 アデナウアー内閣 1949.10~64 グローテヴォール内閣 | 1945.11 ユーゴが王政廃止、連邦人民共和国に 1946~47 東欧諸国相次いで人民共和政 1947.5 ハンガリー政変 .12 ルーマニア王政廃止、人民共和国宣言 1948.2 チェコ2月政変 .6 コミンフォルム、ユーゴ共産党除名 1949.1 東欧6カ国経済相互援助会議(コメコン)設置 1949.8 ハンガリー、人民共和国宣言 1950.3 ユーゴの対ソ非難 1951.7 世界平和大会 1952.7 ポーランド、人民憲法採択 1953.1~80 ティトー大統領 1953.6 東欧諸国の反ソ暴動 1954.9 トリエステ協定成立 | 1945.11 ユーゴが王政廃止、連邦人民共和国に 1946~47 東欧諸国相次いで人民共和政 1947.5 ハンガリー政変 .12 ルーマニア王政廃止、人民共和国宣言 1948.2 チェコ2月政変 .6 コミンフォルム、ユーゴ共産党除名 1949.1 東欧6カ国経済相互援助会議(コメコン)設置 1949.8 ハンガリー、人民共和国宣言 1950.3 ユーゴの対ソ非難 1951.7 世界平和大会 1952.7 ポーランド、人民憲法採択 1953.1~80 ティトー大統領 1953.6 東欧諸国の反ソ暴動 1954.9 トリエステ協定成立 | 1945.3 トルコ、対日宣戦 1945.3 アラブ連盟結成 1946.5 ヨルダン王国成立 1947.11 国連、パレスチナ分割・ユダヤ人独立案可決 1947.2 憲法改正 .3~4 モスクワ四国外相会議 .9 コミンフォルム結成(〜56.4) 1949.2 イスラエル・エジプト停戦協定 .7 南アフリカで異人種間結婚禁止法 1949.9 原爆保有宣言 1950.3 ユーゴの対ソ非難 1951.7 世界平和大会 1952.7 ポーランド、人民憲法採択 1953.1~80 ティトー大統領 1953.6 東欧諸国の反ソ暴動 1954.9 トリエステ協定成立 | 1945.1 アメリカ軍、フィリピン上陸 .8 インドネシア共和国独立宣言 .9 タイ、再びシャムと改称。ベトナム民主共和国独立 1946.7 フィリピン独立 .12 インドシナ戦争(〜54) 1947.7 オランダ=インドネシア戦争起る .8 インド連邦、パキスタン自治領成立 1948.1 ビルマ連邦共和国成立。ガンディー暗殺される .2 セイロン自治領成立 1949.3 シャム、再び国号をタイと改称 .6 フランスがベトナム国樹立(主席バオダイ) .12 インドネシア共和国成立 1949.9~59 毛沢東主席 1949.10 中華人民共和国成立 1950.2 中ソ友好同盟相互援助条約 .6 労働組合法・土地改革法 .10 人民解放軍が東チベット制圧 1950.3~75 総統蔣介石(〜75) 1951.8 米比相互防衛条約 1952.6 日印平和条約 1954.4~5 東南アジア諸国コロンボ会議 .5 ディエンビエンフー陥落、フランス敗退 .6 周恩来・ネルー会談 .7 ジュネーブ休戦協定調印 .9 東南アジア条約機構(SEATO)調印 1954.9 台湾砲撃開始 1954.9 中華人民共和国憲法公布 | 1945.4 米軍、沖縄上陸 1945.8 広島・長崎に原爆投下。ソ連、対日宣戦 1945.9 降伏文書調印 .10 GHQ改革指令 1945.8 北緯38度線を境界とし、南北に分割占領される 1946.1 米ソ、ソウル会談 1947.1 新憲法発布 .9 共産党、中国東部に人民政府樹立 1948.12 共産軍、北京入城 1949.4 共産軍、南京入城 1949.12 国民政府、台湾に移る 1950.6 朝鮮戦争勃発 .9 国連軍、朝鮮に出動 .10 北朝鮮軍に中国軍加わる 1951.7 休戦会談始まる 1952.1 李承晩ライン宣言 1953.7 休戦協定成立 .10 米韓相互防衛条約 1954.12 米・国府相互防衛条約 1955.8 第1回原水爆禁止世界大会(広島) .11 保守合同、自由民主党結成 1956.10 日ソ共同宣言(ソ連との国交回復) .12 国連へ加入 1957.1 北朝鮮第1次五カ年計画 1957.12 日ソ通商条約 1958.1 インドネシアと平和条約 | | | |
| | | 1950 | 1950.9 国連軍、朝鮮戦争に出動 1951.9 サンフランシスコ対日講和会議 1953.4 国連総会、西欧側提出の軍縮案採択(ソ連拒否) 1954.7 ジュネーブ協定(インドシナ停戦協定) | 1950.1 中華人民共和国承認 1951.11~55 第2次チャーチル内閣 1952.2~2022.9 女王エリザベス2世 1952.11 ロンドン英連邦経済会議 1953.1~61 アイゼンハワー(共和党) 1953.1 グレス国務長官「巻き返し政策」発表 1954.10 ロンドン9カ国協定。パリ諸協定。西ヨーロッパ連合(WEU)結成 1954.11 アルジェリア民族解放闘争始まる | 1950.5 シューマン=プラン発表 1951.4 ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体(ECSC)条約調印 1955.2 ユーゴの路線承認 1956.6 ポズナニ暴動 .10 ポーランド政変。ゴムウカ復帰 .10~11 ハンガリー、反ソ暴動 1957.10 フラン切下げ 1957.10 ドイツ統一に関する米・英・仏・西独のベルリン宣言 | 1949.8 イタリア、NATO参加 1950 ソマリランド、イタリア信託統治領となる(60.7 ソマリア独立) 1951 旧イタリア領リビア独立(王政) 1952.2 ギリシア、NATO加盟 1953 トリエステ紛争。アメリカ・スペイン軍事基地協定成立 1954.9 トリエステ協定成立 | 1950.3 ユーゴの対ソ非難 1951.7 世界平和大会 1952.7 ポーランド、人民憲法採択 1953.1~80 ティトー大統領 1953.6 東欧諸国の反ソ暴動 1954.9 トリエステ協定成立 | 1950.3 ユーゴの対ソ非難 1951.7 世界平和大会 1952.7 ポーランド、人民憲法採択 1953.1~80 ティトー大統領 1953.6 東欧諸国の反ソ暴動 1954.9 トリエステ協定成立 | 1949.2 イスラエル・エジプト停戦協定 .7 南アフリカで異人種間結婚禁止法 1949.9 原爆保有宣言 1950.3 ユーゴの対ソ非難 1951.7 世界平和大会 1952.7 ポーランド、人民憲法採択 1953.1~80 ティトー大統領 1953.6 東欧諸国の反ソ暴動 1954.9 トリエステ協定成立 | 1950.6 アラブ集団安全保障条約締結 1951.5 イラン、石油国有化法公布 .12 リビア王国独立 1952.2 トルコ、NATO加盟 .7 エジプト革命 1953.6 エジプト共和国宣言(大統領ナギーブ) .8 イランで国王派のクーデタ 1954.11 アルジェリア独立戦争始まる(〜62) .11 エジプト第2次革命(ナセル、実権を掌握) | 1950.1 インド(共和国)(首相ネルー) 1951.8 米比相互防衛条約 1952.6 日印平和条約 1954.4~5 東南アジア諸国コロンボ会議 .5 ディエンビエンフー陥落、フランス敗退 .6 周恩来・ネルー会談 .7 ジュネーブ休戦協定調印 .9 東南アジア条約機構(SEATO)調印 1954.9 台湾砲撃開始 1954.9 中華人民共和国憲法公布 | 1950.3~75 総統蔣介石(〜75) 1951.8 米比相互防衛条約 1952.6 日印平和条約 1953.7 休戦協定成立 .10 米韓相互防衛条約 1954.12 米・国府相互防衛条約 1955.8 第1回原水爆禁止世界大会(広島) .11 保守合同、自由民主党結成 1956.10 日ソ共同宣言(ソ連との国交回復) .12 国連へ加入 1957.1 北朝鮮第1次五カ年計画 1957.12 日ソ通商条約 1958.1 インドネシアと平和条約 | |
| | | | 1955 | 1955.7 ジュネーブ四巨頭会談(ジュネーブ精神) 1956.8 スエズ問題国際会議 .10 スエズ動乱。ハンガリー暴動 1957.7 バグウォッシュ国際科学者会議で核実験中止声明 .9 ハンガリー問題国連特別総会 .9 国際原子力機関創設 1958.8 アラブ問題国際緊急特別総会 1959.5~8 ジュネーブ四国外相会議 .11 児童権利宣言 .12 南極条約調印 | 1955.4~57 イーデン保守党内閣 カリブ連邦独立協定 1956.7 エジプト、スエズ運河国有化宣言 .10 スエズ戦争 1957.1~63 マクミラン保守党内閣成立 1957.10 米英首脳ワシントン会談 1957.12 パリNATO首脳会談、ICBMヨーロッパ配備決定 1958.3 フックス探検隊、南極大陸横断 1959.1 キューバ革命(カストロ、革命政府樹立) .8 第50州ハワイ .9 キャンプ=デーヴィッド会談 1959.12 米・英・仏・西独四国首脳パリ会談 | 1955.5 ベトナムから完全撤退 1956.3 モロッコ・チュニジア独立 1956.10 独仏間のザール協定 1957.3 ヨーロッパ経済共同体(EEC)・ヨーロッパ原子力共同体(EURATOM)調印(ローマ) 1957.10 フラン切下げ 1957.10 ドイツ統一に関する米・英・仏・西独のベルリン宣言 1958.1 ヨーロッパ経済共同体(EEC)発足 .2 ベネルクス条約 .5 アルジェリア危機。ド=ゴール内閣成立 1958~現 第五共和政 1959~69 ド=ゴール大統領 1959.12 米・英・仏・西独四国首脳パリ会談 | 1955.5 NATO加盟 1955.5 オーストリア国家条約調印(.7 永世中立国宣言) 1956.4 スペイン・モロッコ共同宣言 1956.10 国家人民軍創設 .1 ワルシャワ条約機構加盟 1957.10 ドイツ統一に関する米・英・仏・西独のベルリン宣言 1958.3 連邦議会、核武装を決議 1959.2 キプロス共和国独立協定 | 1955.6 ベオグラード宣言、ソ連がユーゴの路線承認 1956.6 ポズナニ暴動 .10 ポーランド政変。ゴムウカ復帰 .10~11 ハンガリー、反ソ暴動 1957.10 ユーゴ、東独と国交回復 .11 共産圏12カ国モスクワ共同宣言 1958.3 ユーゴ共産党新綱領 1959.4 プラハ会議 .12 共産圏通貨協定 | 1955.6 ベオグラード宣言、ソ連がユーゴの路線承認 1956.6 ポズナニ暴動 .10 ポーランド政変。ゴムウカ復帰 .10~11 ハンガリー、反ソ暴動 1957.10 ユーゴ、東独と国交回復 .11 共産圏12カ国モスクワ共同宣言 1958.3 ユーゴ共産党新綱領 1959.4 プラハ会議 .12 共産圏通貨協定 | 1955.4 アジア=アフリカ会議(バンドン、29カ国) 1955.11 バグダード条約機構(中東条約機構、METO)結成 1956.1 スーダン独立 .3 モロッコ・チュニジア独立 .7 エジプト、スエズ運河国有化宣言 .10 スエズ戦争 1957.3 ガーナ独立 1957.6 マレンコフ退任 1957.10 人工衛星スプートニク1号打ち上げ成功 1958.12 共産圏12カ国モスクワ共同宣言 1958.3~64 フルシチョフ 1959 人工惑星成功 9 フルシチョフ訪米 .10 宇宙ステーション、月の裏側の撮影に成功 | 1950.6 アラブ集団安全保障条約締結 1951.5 イラン、石油国有化法公布 .12 リビア王国独立 1952.2 トルコ、NATO加盟 .7 エジプト革命 1953.6 エジプト共和国宣言(大統領ナギーブ) .8 イランで国王派のクーデタ 1954.11 アルジェリア独立戦争始まる(〜62) .11 エジプト第2次革命(ナセル、実権を掌握) | 1950.1 インド(共和国)(首相ネルー) 1951.8 米比相互防衛条約 1952.6 日印平和条約 1954.4~5 東南アジア諸国コロンボ会議 .5 ディエンビエンフー陥落、フランス敗退 .6 周恩来・ネルー会談 .7 ジュネーブ休戦協定調印 .9 東南アジア条約機構(SEATO)調印 1954.9 台湾砲撃開始 1954.9 中華人民共和国憲法公布 | 1950.3~75 総統蔣介石(〜75) 1951.8 米比相互防衛条約 1952.6 日印平和条約 1953.7 休戦協定成立 .10 米韓相互防衛条約 1954.12 米・国府相互防衛条約 1955.8 第1回原水爆禁止世界大会(広島) .11 保守合同、自由民主党結成 1956.10 日ソ共同宣言(ソ連との国交回復) .12 国連へ加入 1957.1 北朝鮮第1次五カ年計画 1957.12 日ソ通商条約 1958.1 インドネシアと平和条約 |
| | | | | 1960 | 1960.9 日独伊三国同盟 | 1960.8 国防軍法成立 1960.10 「チャップリンの独裁者」公開 1961.3 武器貸与法成立 .5 国家非常事態宣言 .8 対石油禁輸、大西洋憲章成立 1961.12.8 日本軍、真珠湾攻撃。対日宣戦、対独伊宣戦 | 1960.5~45 チャーチル戦時連立内閣 1961.5 ロンドン大空襲 1961.12.8 対日宣戦 | 1960.5 ドイツ軍侵入 .6 ドイツに降伏 .6 ド=ゴール、ロンドンに自由フランス政府樹立 1960.9 日独伊三国同盟(枢軸陣営の強化) 1961.6 ドイツ・イタリア、対ソ宣戦 .12 ドイツ・イタリア、対アメリカ宣戦 1962.1 ユダヤ人大量虐殺を決定 1962.1~7 独伊軍、北アフリカ戦線で反撃 .8 ドイツ軍、カフカス侵攻、スターリングラードの一角突入 .11 英軍、キレナイカ再占領。ドイツ軍、チュニジア上陸 1962.12 イベリア=ブロック結成 1963.7 連合軍、シチリア上陸。ファシスト党解散 .9 イタリア降伏(パドリオ政権) 1964.6 ローマ解放 | 1960.3 ヒトラー・ムッソリーニのブレネル峠会談 1960.4 ドイツ軍、デンマーク・ノルウェー占領 1960.5 ドイツ軍、ベルギー・オランダも占領 1960.6 イタリアの参戦 1961.3 ブルガリアが日独伊三国同盟加盟 1961.6 ドイツ軍、ユーゴ侵攻。ギリシア、対独宣戦。ルーマニア対ソ宣戦 .7 ティトー、レジスタンス開始 1963.10 ティトのバルチザン部隊蜂起 1964.1 ソ連軍、ルーマニアを制圧 1964.8 ソ連軍、ルーマニアを制圧 1964.9 ソ連軍、ブルガリアを制圧 | 1960.6 ベッサラビア占領 .8 バルト3国併合 1961.5~53 首相スターリン 1961.6 ドイツ軍、対ソ攻撃開始 .9 ドイツ軍、レニングラード包囲 1962.8 ドイツ軍、スターリングラード突入 1962.8 ドイツ軍、スターリングラード突入 1963.2 スターリングラード攻防戦でドイツ軍が敗退 .5 コミンテルン解散 1964.1 レニングラード解放 1964.1 ソ連軍、ルーマニアを制圧 1964.8 ソ連軍、ルーマニアを制圧 1964.9 ソ連軍、ブルガリアを制圧 | 1961.4 エチオピアがイタリア軍を破り主権回復 .5 イラクの反英路線にイギリス軍が攻撃 .6 トルコ、ドイツと友好条約 .8 英ソがイラン占領 .9 イラン、中立宣言。シリア独立宣言 1961~79 イラン、パフレヴィー2世 1962 イラン、英ソと軍事同盟 1963.11 レバノン共和国成立 | 1960.3 全インド=ムスリム連盟がパキスタン独立構想を決議 1960.9 日本軍、仏領インドシナ北部進駐 1961.5 ベトナム独立同盟結成 .7 日本軍、仏領インドシナ南部進駐 .12 日本軍、マレー半島上陸 1962.1 日本軍、マニラ占領 .3 オランダ領東インド、日本に降伏 1962.3 フィリピンでフカラハップ結成 1963.8 日本の支援でビルマ独立宣言 .10 フィリピン共和国成立 .11 自由インド仮政府成立 | 1960.1 毛沢東「新民主主義論」 .3 汪兆銘、南京政府を設立 .8 八路軍が日本軍に総攻撃開始 1961.4 日ソ中立条約。日米会談開始 .12 マレー沖海戦でイギリス艦撃沈 .12.8 日本軍、真珠湾攻撃 1961.12.8 日本、対米英宣戦、太平洋戦争始まる(〜45.8.15) 1961.12 米・英と同盟、対日宣戦 1962.10 不平等条約改正 1963.9~48 蔣介石(国民政府主席) 1963.11 カイロ宣言 1963.2 ガダルカナル島敗退 1964.3 ビルマでインパール作戦 .6 米軍、サイパン上陸 .10 米軍、レイテ島上陸 |

| 年代 | 国際問題・国際連合 | アメリカ | 南・北ヨーロッパ | 西・中央ヨーロッパ | | | 東ヨーロッパ | | 西アジア | 南アジア | 東アジア | | | 年代 |
|------|-------------------------------|---|--|--|--|--|--|--|--|------------------------|----------------------------|----------------------|-------------------|----|
| | | | | イギリス | フランス共和国 | 西ドイツ | 東欧諸国 | ソヴィエト連邦 | 中東・アフリカ | インド・東南アジア | 中国(台湾) | 朝鮮半島 | 日本 | |
| 1960 | 1960.5 U2型機事件。パリ東西首脳会談決裂 | アメリカ合衆国と中南米 | | | | | | | | | | | | |
| | 1961.9 第1回非同盟諸国首脳会議(ベオグラード会議) | 1961.1~63 ケネディ(民主党) .5 キューバ社会主義宣言 .9 OEEC加盟国にアメリカ・カナダが加わりOECD(経済協力開発機構)発足 | | | 1960 キプロス・ナイジェリア独立 | 1960.2 サハラ砂漠で初の原爆実験 | 1961.8 東独、西ベルリンへの交通遮断(ベルリンの壁構築) | 1961.8 東独、西ベルリンへの交通遮断 .11 ソ連・アルバニア、国交断絶 | 1961.4 人間衛星船「オストロフ1号」成功 | 1960 「アフリカの年」 | 1961.12 インド軍、ポルトガル領ゴアを武力接収 | 1961.5 韓国、軍事クーデタ | 1960.1 日米安全保障条約調印 | |
| | 1963.8 米英ソ、部分的核実験禁止条約調印 | 1962.10 キューバ危機 1963.10 ワシントン大行進 .11 ケネディ暗殺される | 1962~65 第2ヴァチカン公会議 | 1961.5 南アフリカ連邦、英連邦を離脱 .8 EEC加盟申請(63.1ド=ゴール拒否) | 1961.5 南アフリカ連邦、英連邦を離脱 .8 EEC加盟申請(63.1ド=ゴール拒否) | 1961.5 南アフリカ連邦、英連邦を離脱 .8 EEC加盟申請(63.1ド=ゴール拒否) | 1961.5 南アフリカ連邦、英連邦を離脱 .8 EEC加盟申請(63.1ド=ゴール拒否) | 1961.5 南アフリカ連邦、英連邦を離脱 .8 EEC加盟申請(63.1ド=ゴール拒否) | 1962.10 キューバのミサイル撤去 | 1961.6 クウェート独立 | 1962.10 中印国境紛争(〜11) | 1963.12~79 朴正熙韓国大統領 | 1964.10 東京オリンピック | |
| | 1964.3~6 第1回国連貿易開発会議(UNCTAD) | 1964.3 ジョンソン副大統領昇格(民主党)(〜69) | 1964.9 マルタ独立 | 1962.8 ジャマイカ独立 | 1962.8 ジャマイカ独立 | 1962.8 ジャマイカ独立 | 1962.8 ジャマイカ独立 | 1962.8 ジャマイカ独立 | 1964.10 フルシチョフ失脚、ブレジネフ書記長(〜82)、コシギン首相(〜80) | 1961.6 クウェート独立 | 1962.10 中印国境紛争(〜11) | 1963.12~79 朴正熙韓国大統領 | 1964.10 東京オリンピック | |
| | 1965.1 インドネシア、国連脱退を通告 | 1965.12 キング牧師、ノーベル平和賞受賞 | 1965.12 ローマ教皇・ギリシア正教会総主教、東西教会対立解消の共同声明(相互破門解消) | 1963.10~64 ヒュウム保守党内閣 | 1963.10~64 ヒュウム保守党内閣 | 1963.10~64 ヒュウム保守党内閣 | 1963.10~64 ヒュウム保守党内閣 | 1963.10~64 ヒュウム保守党内閣 | 1963.5 アフリカ統一機構(OAU)結成 | 1965.2 米軍の北爆始まる | 1965.2 米軍の北爆始まる | 1966.7 米韓行政協定 | 1965.6 日韓基本条約 | |
| | 1966.9 インドネシア、国連に復帰 | 1966.9 インドネシア、国連に復帰 | 1967.4 キング牧師暗殺される | 1964.10~70 ウィルソン労働党内閣 | 1964.10~70 ウィルソン労働党内閣 | 1964.10~70 ウィルソン労働党内閣 | 1964.10~70 ウィルソン労働党内閣 | 1964.10~70 ウィルソン労働党内閣 | 1964.5 パレスチナ解放機構(PLO)結成 | 1966.8 シンガポール分離独立 | 1966.8 シンガポール分離独立 | 1967.3 北朝鮮、ソ連と経済技術協定 | 1966.7 米韓行政協定 | |
| | 1967.6 第3次中東戦争。安保理、即時停戦決議案可決 | 1967.6 第3次中東戦争。安保理、即時停戦決議案可決 | 1967.4 キング牧師暗殺される | 1967.5 EEC加盟申請(11ド=ゴール拒否) | 1967.5 EEC加盟申請(11ド=ゴール拒否) | 1967.5 EEC加盟申請(11ド=ゴール拒否) | 1967.5 EEC加盟申請(11ド=ゴール拒否) | 1967.5 EEC加盟申請(11ド=ゴール拒否) | 1966.2 ガーナのクーデタ、エンクマ失脚 | 1966.8 シンガポール分離独立 | 1966.8 シンガポール分離独立 | 1967.3 北朝鮮、ソ連と経済技術協定 | 1966.7 米韓行政協定 | |
| | 1968.7 核拡散防止条約調印 | 1968.7 核拡散防止条約調印 | 1967.4 キング牧師暗殺される | 1969.8 北アイルランドで宗教暴動 | 1969.8 北アイルランドで宗教暴動 | 1969.8 北アイルランドで宗教暴動 | 1969.8 北アイルランドで宗教暴動 | 1969.8 北アイルランドで宗教暴動 | 1967.5 ナイジェリア内戦(〜70) | 1966.2 ガーナのクーデタ、エンクマ失脚 | 1966.2 ガーナのクーデタ、エンクマ失脚 | 1967.3 北朝鮮、ソ連と経済技術協定 | 1966.7 米韓行政協定 | |
| | | 1969.1~74 ニクソン(共和党) | 1967.4 キング牧師暗殺される | 1969.8 北アイルランドで宗教暴動 | 1969.8 北アイルランドで宗教暴動 | 1969.8 北アイルランドで宗教暴動 | 1969.8 北アイルランドで宗教暴動 | 1969.8 北アイルランドで宗教暴動 | 1967.5 ナイジェリア内戦(〜70) | 1966.2 ガーナのクーデタ、エンクマ失脚 | 1966.2 ガーナのクーデタ、エンクマ失脚 | 1967.3 北朝鮮、ソ連と経済技術協定 | 1966.7 米韓行政協定 | |
| | | 1970.11 チリ、アジェンデ社会主義政権成立 | 1967.4 キング牧師暗殺される | 1969.8 北アイルランドで宗教暴動 | 1969.8 北アイルランドで宗教暴動 | 1969.8 北アイルランドで宗教暴動 | 1969.8 北アイルランドで宗教暴動 | 1969.8 北アイルランドで宗教暴動 | 1967.5 ナイジェリア内戦(〜70) | 1966.2 ガーナのクーデタ、エンクマ失脚 | 1966.2 ガーナのクーデタ、エンクマ失脚 | 1967.3 北朝鮮、ソ連と経済技術協定 | 1966.7 米韓行政協定 | |

| 年代 | 国際問題・国際連合 | | | | | | | | | | | | 年代 | | | | | | |
|--------------------------|--|------------------------------|----------------------------|-----------------|----------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|--|-----------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|--------------------------|-------------------------|---------------------|-------------|-------------|----------------|------------------|-------------------|
| | アメリカ | | | 南・北ヨーロッパ | | 西・中央ヨーロッパ | | | 東ヨーロッパ | | 西アジア | | | 南アジア | | 東アジア | | | |
| | アメリカ合衆国と中南米 | | | | イギリス | フランス共和国 | ドイツ連邦共和国 | 東欧諸国 | | ロシア | 中東・アフリカ | | インド・東南アジア | | 中国(台湾) | | 朝鮮半島 | 日本 | |
| 2000 | 1996.9 国連総会、包括的核実験禁止条約(CTBT)採択 | | | 2002.9 スイス、国連加盟 | 1996.2 IRA、停戦破棄宣言 | 1996.1 シラク大統領、核実験終了を宣言 | 1998.10~05 シュレーダー内閣 | 1996.10 ボスニアとユーゴスラヴィア、外交関係樹立で合意 | 1996.6 ロシア大統領選挙でエリツィン再選 | 1996.6 イスラエルに Netanyahu 右派連立内閣成立 | 1996.5 インド総選挙で与党の国民会議派が第1党から転落 | 1996.3 台湾初の総統直接選挙で李登輝が当選 | 1997.10 金正日 北朝鮮総書記(〜11) | 1996.1 橋本龍太郎内閣(〜98) | 1997.2 鄧小平没 | 1997.7 香港返還 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | 1998.2 長野冬季オリンピック |
| | 1997.1 国連事務総長にアナン(ガーナ)が就任 | 1996.12 ベルー日本大使公邸人質事件(〜97.4) | 1997.5~07 プレア労働党内閣 | | 1997.6 総選挙により社会党のジョズバン内閣成立 | 1997.3 アルバニアで反政府暴動 | | 1997.1 イスラエル軍、ヘbronより部分撤退 | 1998.5 インドとパキスタンが核実験を強行 | 1998.2 鄧小平没 | 1998.1 北朝鮮総書記(〜11) | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | |
| | .4 化学兵器禁止条約発効 | 1998.6 クリントン大統領訪中 | 1997.6 EU、アムステルダム条約調印 | | 1998.10~05 シュレーダー内閣 | 1999.3 ポーランド・チェコ・ハンガリー、NATO加盟 | | 1997.5 モブツ・ザイール大統領失脚。カビラ新政権、国名をコンゴ民主共和国に改称 | 1998.5 インドとパキスタンが核実験を強行 | 1998.2 鄧小平没 | 1998.1 北朝鮮総書記(〜11) | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | |
| | .12 地球温暖化防止京都会議(COP3) | .10 ピノチェト元チリ大統領逮捕 | .7 IRA、再停戦宣言 | | 1998.10~05 シュレーダー内閣 | .3 NATO軍、ユーゴ空爆開始 | | 1999.9 ロシア軍の第2次チェチェン侵攻 | .5 インドネシア反政府暴動。スハルト大統領辞任。ハビビ大統領就任 | 1998.2 鄧小平没 | 1998.1 北朝鮮総書記(〜11) | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | |
| | | .12 クリントン、パレスチナ訪問 | 1998.4 北アイルランド和平合意 | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | .6 ユーゴ、コソヴォから撤退。空爆停止 | | 1999.9 ロシア軍の第2次チェチェン侵攻 | .7 イスラエルにバラク連立内閣成立 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1998.2 鄧小平没 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | |
| | | 1999.10 米、上院でCTBT批准を否決 | 1999.1 EU11カ国 通貨統合。ユーロ導入開始 | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | | | .12 エリツィン大統領辞任 | 1999.6 南アフリカ共和国、大統領にムベキ就任 | 1999.5 NATO軍の中国大使館誤爆事件で抗議デモが中国全土に拡大 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | |
| | .12 パナマ運河返還 | 1999.10 米、上院でCTBT批准を否決 | .5 アムステルダム条約発効 | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | | | | .10 インドネシア、大統領にワヒド就任 | .12 マカオ返還 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | |
| | 2000.7 九州・沖縄サミット | 2000.11 ベルー、フジモリ大統領罷免 | | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | | | | .12 東ティモール暫定行政機構(UNTAET)設立 | 1999.5 NATO軍の中国大使館誤爆事件で抗議デモが中国全土に拡大 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | |
| | .9 国連ミレニアム・サミット | 2001.1~09 ブッシュ(共和党) | | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | | | | | 1999.5 NATO軍の中国大使館誤爆事件で抗議デモが中国全土に拡大 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | |
| | 2002.5 米ロ戦略核兵器削減条約調印 | .9 9.11テロ | | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | | | | | 1999.5 NATO軍の中国大使館誤爆事件で抗議デモが中国全土に拡大 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | |
| 2003.3~5 イラク戦争 | .10 アフガニスタンへの軍事行動開始。炭疽菌事件発生 | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | | | | 1999.5 NATO軍の中国大使館誤爆事件で抗議デモが中国全土に拡大 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | | | | |
| 2004.12 スマトラ沖大地震・インド洋津波 | 2003.2 スペースシャトル「コロンビア」空中分解事故 | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | | | | 1999.5 NATO軍の中国大使館誤爆事件で抗議デモが中国全土に拡大 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | | | | |
| 2005.2 京都議定書発効 | .3 米・英、イラク攻撃開始。イラク戦争(〜5) | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | | | | 1999.5 NATO軍の中国大使館誤爆事件で抗議デモが中国全土に拡大 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | | | | |
| 2007.1 国連事務総長に潘基文(韓国)が就任 | 2005.8 ハリケーンのカトリーナにより米南部諸州に大きな被害 | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | | | | 1999.5 NATO軍の中国大使館誤爆事件で抗議デモが中国全土に拡大 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | | | | |
| 2008.7 北海道洞爺湖サミット | 2005.4 教皇ベネディクト16世就任(〜2013) | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | | | | 1999.5 NATO軍の中国大使館誤爆事件で抗議デモが中国全土に拡大 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | | | | |
| | 2008.2 キューバ、カストロが国家評議会議長を退任 | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | | | | 1999.5 NATO軍の中国大使館誤爆事件で抗議デモが中国全土に拡大 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | | | | |
| | 2009.1~17 オバマ(民主党) | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | | | | 1999.5 NATO軍の中国大使館誤爆事件で抗議デモが中国全土に拡大 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | | | | |
| | .4 オバマがブラハで演説、核のない世界をめざすと宣言 | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | | | | 1999.5 NATO軍の中国大使館誤爆事件で抗議デモが中国全土に拡大 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | | | | |
| 2010 | 2010.4 メキシコ湾で原油流出事故 | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | | | | 1999.5 NATO軍の中国大使館誤爆事件で抗議デモが中国全土に拡大 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | | | | |
| | 2010.5~15 キャメロン保守党・自由民主党連立内閣 | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | | | | 1999.5 NATO軍の中国大使館誤爆事件で抗議デモが中国全土に拡大 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | | | | |
| | 2012.5~17 オランダ大統領 | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | | | | 1999.5 NATO軍の中国大使館誤爆事件で抗議デモが中国全土に拡大 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | | | | |
| | 2013.3 教皇フランシスコ就任 | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | | | | 1999.5 NATO軍の中国大使館誤爆事件で抗議デモが中国全土に拡大 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | | | | |
| | 2015.11~.12 国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21) | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | | | | 1999.5 NATO軍の中国大使館誤爆事件で抗議デモが中国全土に拡大 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | | | | |
| | .12 パリ協定採択 | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | | | | 1999.5 NATO軍の中国大使館誤爆事件で抗議デモが中国全土に拡大 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | | | | |
| | 2016.5 伊勢志摩サミット | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | | | | 1999.5 NATO軍の中国大使館誤爆事件で抗議デモが中国全土に拡大 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | | | | |
| | 2017.1 国連事務総長にグテーレス(ポルトガル)が就任 | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | | | | 1999.5 NATO軍の中国大使館誤爆事件で抗議デモが中国全土に拡大 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | | | | |
| 2020 | 2020.3 WHO、新型コロナウイルス感染症のパンデミックを宣言 | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | | | | 1999.5 NATO軍の中国大使館誤爆事件で抗議デモが中国全土に拡大 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | | | | |
| | 2021.1 核兵器禁止条約発効 | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | | | | 1999.5 NATO軍の中国大使館誤爆事件で抗議デモが中国全土に拡大 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | | | | |
| | 2020.7 アメリカ・メキシコ・カナダ協定(USMCA)発効 | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | | | | 1999.5 NATO軍の中国大使館誤爆事件で抗議デモが中国全土に拡大 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | | | | |
| | .11 アメリカ、パリ協定離脱 | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | | | | 1999.5 NATO軍の中国大使館誤爆事件で抗議デモが中国全土に拡大 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | | | | |
| | 2021.1~ バイデン(民主党) | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | | | | 1999.5 NATO軍の中国大使館誤爆事件で抗議デモが中国全土に拡大 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | | | | |
| | .2 アメリカ、パリ協定復帰 | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | | | | 1999.5 NATO軍の中国大使館誤爆事件で抗議デモが中国全土に拡大 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | | | | |
| | 2022.9~.10 トラス保守党内閣 | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | | | | 1999.5 NATO軍の中国大使館誤爆事件で抗議デモが中国全土に拡大 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | | | | |
| | .9~ チャールズ3世 | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | | | | 1999.5 NATO軍の中国大使館誤爆事件で抗議デモが中国全土に拡大 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | | | | |
| | .10~ スナク保守党内閣 | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | | | | 1999.5 NATO軍の中国大使館誤爆事件で抗議デモが中国全土に拡大 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | | | | |
| | 2023.5 広島サミット | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | | | | 1999.5 NATO軍の中国大使館誤爆事件で抗議デモが中国全土に拡大 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | | | | |
| | 2023.4 フィンランド、NATO加盟 | | 1999.7 ラウ大統領就任(〜2004) | | | | 1999.5 NATO軍の中国大使館誤爆事件で抗議デモが中国全土に拡大 | 1998.3 朱鎔基首相就任 | 1997.4 消費税5%に引上げ | | | | | | | | | | |